

令和7年度下水道事業評価(中間)一覧表

目 方 指 向 性 べ き	基本政策	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
Ⅰ 快適な生活環境の実現	Ⅰ-1 生活環境の改善 や河川の水質保 全に努めます	Ⅰ-1-① 計画的な下水道 (汚水)整備の推 進	下水道建設課	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。	下水道(汚水)の整備が進んでいない地域については、既に整備している地域と早期に均衡が図れるよう整備を進めるとともに、土地区画整理事業などが計画・実施されている地域では、街路整備の進捗に合わせて整備を行うほか、一定の条件を満たす場合には、先行して整備を進めます。	・下水道(汚水)の整備が進んでいない地域及び土地区画整理事業地区等に污水管きよを7.9km整備します。 ・土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を執行します。 ・工事施工にあたっては、他事業者と工事時期や施工方法等の調整を行うとともに、工事施工業者に対して事前に施工方法、施工体制の確認を行い、交通渋滞等がないよう市民生活に配慮します。	①2,162,328 ②2,157,386	1,411,391	65%	B 予定ど おりの 進捗	・下水道(汚水)の整備が進んでいない地域に、污水管きよを5.3km整備しています。 ・土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を進めています。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないよう、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を進めています。
		Ⅰ-1-② 整備困難地域に おける下水道 (汚水)整備の検 討	下水道建設課	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所については、効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究します。	・新工法説明会等に参加し研究を進めるとともに、情報共有を行います。 ・道路工事調整会議への出席やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障をきたさないよう情報共有を行います。	①0 ②0	-	-	B 予定ど おりの 進捗	・道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管の埋設工事が難しい場所の工法について、課内で情報共有を行いました。 ・道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障をきたさないよう情報共有を行いました。
Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現	Ⅱ-1 浸水に対する安全・安心なまちづくりを推進します	Ⅱ-1-① 計画的な下水道 (雨水)整備の推 進	下水道建設課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、雨水管きよを整備するほか、貯留施設などの整備を検討します。	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.69km整備します。	①642,255 ②642,255	552,898	86%	B 予定ど おりの 進捗	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.92km整備しています。
		Ⅱ-1-② 公共施設におけ る雨水流出抑制 の推進	下水道維持課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	公共施設の建て替えなどを行う場合には、関係機関と協議・連携を図り、地下貯留などの雨水流出抑制施設の設置を進めます。	・公共施設に広く雨水流出抑制施設を整備することにより、浸水被害の発生しにくい都市づくりに長期的かつ継続的に取り組みます。 ・公共施設に設置された雨水流出抑制施設の効用を十分に発揮させるために、公共施設管理者に対して、維持管理の周知徹底を図ります。 ・川口市雨水流出抑制指針・マニュアルの令和7年7月の改定に向け、ホームページ等での周知を行います。	①0 ②0	-	-	B 予定ど おりの 進捗	・2件(戸塚環境センター、安行原小清水公園)の事前協議を実施しました。 ・1件(芝下3丁目第3公園)の完了検査を実施しました。 ・川口市雨水流出抑制指針・マニュアルの改訂版を関係各課に送付するとともに、令和7年6月下旬にホームページで公表し、周知を行いました。
		Ⅱ-1-③ 浸水対策に対す る情報提供によ る自助の促進	上下水道総務課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	浸水対策に対する情報を市民に提供することにより、市民一人ひとりの防災意識を高めます。 また、市民に対し浸水情報を少しでも早く伝えられるよう、情報通信技術(ICT)を活用した情報提供について研究します。	浸水対策に対する市民一人ひとりの防災意識を高めるため、上下水道局ホームページなどを活用した情報提供を行います。	①0 ②0	-	-	B 予定ど おりの 進捗	・上下水道局公式Xでの投稿を実施することで、浸水対策についての意識啓発を行っています。

令和7年度下水道事業評価(中間)一覧表

目 方 指 向 す 性 べき	基本政策	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
Ⅱ 安 全 ・ 安 心 な く ら し の 実 現	Ⅱ-2 地震に対する防 災・減災を推進し ます	Ⅱ-2-① 管路施設におけ る耐震化の推進	下水道維持課	大規模地震災害時においても下水道 の機能を確保するため、下水道施設 の耐震化(防災対策)と被害の最小 化(減災対策)を組み合わせること により計画的な地震対策に取り組みま す。	新設する管きよは、各種耐震対策指針に 基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性 の強化を図ります。一方、既に埋設されて いる重要な管きよ、(避難所からの汚水を受 ける管きよ、緊急輸送道路下にある管 きよ、河川や軌道を横断している管きよ) については、優先的に管更生などの耐震 化を進めます。また、緊急輸送道路下 にあるマンホールのうち、液状化によるマ ンホール浮上の恐れがあると判定されたマ ンホールについては、優先的に浮上防止 対策を行います。	総合地震対策計画(第3期)に基づき、令和7 年度から11年度までの5年間で計画を実施し ます。(緊急輸送道路の範囲拡大や避難所か らの管路、44,000mを追加したため耐震化率 は落ちています) ・管きよの地震対策としては、耐震化工事を実 施します。 ・マンホール浮上防止対策は浮上防止工事を 行います。	①225,099 ②327,348	82,264	25%	B 予 定 ど お り の 進 捗	管更生工事・マンホール浮上防止工事につい てはほぼ設計済です。
		Ⅱ-2-② ポンプ場におけ る耐震化の推進	ポンプ場管理 センター	大規模地震災害時においても下水道 の機能を確保するため、下水道施設 の耐震化(防災対策)と被害の最小 化(減災対策)を組み合わせること により計画的な地震対策に取り組みま す。	耐震性能の評価・調査診断を行い、耐震 性能が不足していると判定されたポンプ 場については、耐震補強を進めます。	被災による影響度が大きい施設を考慮し、横 曽根中継ポンプ場、新堀中継ポンプ場の委託 工事計画の見直しを実施します。	①0 ②0	-	-	B 予 定 ど お り の 進 捗	横曽根中継ポンプ場、新堀中継ポンプ場の委 託工事計画について、計画内容の検討を進め ています。
		Ⅱ-2-③ 災害用マンホー ルトイレの整備 推進	下水道建設課	大規模地震災害時においても下水道 の機能を確保するため、下水道施設 の耐震化(防災対策)と被害の最小 化(減災対策)を組み合わせること により計画的な地震対策に取り組みま す。	「川口市地域防災計画」に示されている指 定避難所などを対象とし、災害用マンホー ルトイレの整備を進めます。	・災害発生時においてもトイレが利用できるよ う、マンホールトイレを9箇所設置します。 (東スポーツセンター、舟戸小学校、南中学 校、青木町公園、上青木中学校、県立川口工 業高等学校、芝中学校、戸塚北小学校、安行 スポーツセンター) ・工事施工にあたり学校運営に支障がないよ うに、事前に施工方法、施工体制を確認しま す。	①158,645 ②163,587	162,798	99%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・災害発生時においてもトイレが利用できるよ う、マンホールトイレ9箇所の整備を進めていま す。 (東スポーツセンター、舟戸小学校、南中学校、 青木町公園、上青木中学校、県立川口工業高 等学校、芝中学校、戸塚北小学校、安行ス ポーツセンター) ・工事施工にあたり学校運営に支障がないよ うに、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故 等もなく工事を進めています。
		Ⅱ-2-④ 危機管理体制の 向上	上下水道総務課	大規模地震災害時においても下水道 の機能を確保するため、下水道施設 の耐震化(防災対策)と被害の最小 化(減災対策)を組み合わせること により計画的な地震対策に取り組みま す。	下水道が果たすべき機能を維持・回復す ることを目的とした被災時の行動計画で ある「川口市下水道事業業務継続計画」 に基づく訓練の実施や資材の備蓄を行 い、災害に強い危機管理体制の向上に努 めます。	「川口市下水道事業業務継続計画」(下水道B CP)の見直しを行い、その内容を局内職員に 周知します。 また、下水道BCPに基づく訓練を実施します。	①0 ②0	-	-	B 予 定 ど お り の 進 捗	・人事異動に伴い、川口市下水道事業業務継 続計画(下水道BCP)の見直しを行いました。

令和7年度下水道事業評価(中間)一覧表

目 方 指 向 す 性 べき	基本政策	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
Ⅲ 下 水 道 施 設 の 適 切 な 管 理	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-② 改築情報などのデータベース化の検討	下水道維持課	流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組めます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	・10月より上下水道事業を統合したマッピングシステムを運用します。 ・竣工図、排水設備確認申請書、管内調査の各種情報を基に公共下水道台帳システムのデータ更新を行います。	①11,545 ②11,545	1,451	13%	B 予定 ど お り の 進 捗	・委託料において、公共下水道台帳管理システム保守委託は、発注済です。 ・賃借料において、公共下水道台帳管理システム機器賃貸借(R7.4.1～R7.9.30)は、発注済です。
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-② 改築情報などのデータベース化の検討(再掲)	ポンプ場管理センター	定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組めます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	ストックマネジメント計画の一環として改築情報をデータベース化するシステムを構築します。	①0 ②0	0		B 予定 ど お り の 進 捗	紙図面の電子データへ変換や、ストックマネジメント計画の一環としてデータベース化への構築に向け情報収集を進めるなど、今後の改修工事へ生かせるよう整理中です。
Ⅳ 下 水 道 事 業 の 経 営 の 健 全 化	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-① 経営安定化の推進	上下水道総務課	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	効率的な施設管理、コストの削減、建設投資にかかる経費の平準化などを図り、下水道事業の安定経営に努めます。また、下水道への接続を促進するなど収入の確保に努めます。	・事業評価およびローリングを実施し、各施策の進捗管理を行います。 ・財政収支計画を検証するとともに経営戦略を適宜見直します。	①0 ②0	-	-	B 予定 ど お り の 進 捗	・上半期における収入状況の把握に努めるとともに、事業評価(中間評価)を実施し、川口市下水道ビジョンにおける各施策の進捗管理を行いました。 ・公共下水道事業経営戦略(令和4年度から令和6年度)の期間検証を行っています。
		Ⅳ-1-② 適正な下水道使用料の検討	上下水道総務課	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	今後、人口の減少や節水機器の普及などによる下水道使用料(収入)の減少、施設の老朽化に伴う更新費用(支出)の増大が想定されます。今後も引き続き、経費の削減や維持管理に努めつつ健全な下水道経営を実現するため、適正な経費回収率などを指標とした下水道使用料について検討します。	・類似団体及び県内事業者等必要に応じ対象事業体を抽出し、下水道使用料の調査・分析を行います。 ・経費回収率等を比較、分析し適正な下水道使用料を検討します。	①0 ②0	-	-	B 予定 ど お り の 進 捗	・類似団体及び県内事業者等の下水道使用料の調査・分析を行いました。 ・下水道使用料のあり方について上下水道事業運営審議会にて検討を進めた結果、使用料改定が必要と判断されたため、適切な使用料体系等を検討し、改定に必要な条例の改正議案を提出しました。
	Ⅳ-2 広報活動の充実や市民ニーズの把握に努めます	Ⅳ-2-① 広報活動の充実	上下水道総務課	下水道(汚水)を使用できる市民が速やかに下水道(汚水)に接続していただけるよう、積極的な広報活動に努めます。また、下水道サービスの向上を図るため、さまざまなイベントなどを通じて、直接市民の声を聴くなど、市民ニーズの把握に努めます。	下水道事業の必要性や下水道の内容などをわかりやすく市民に伝えるため、市ホームページや広報誌などを活用した情報提供を行うとともに、各種イベントを通じ積極的な広報活動に努めます。また、下水道施設の見学会開催について検討します。	・アクアプラン4-1-4「水道事業PRとお客様の声の反映」と連携し、各種イベントに参加します。 ・上下水道局ホームページや上下水道広報誌「みずぐるま」に工夫を凝らし、市民の事業に対する理解促進を図ります。	①99 ②99	99	100%	B 予定 ど お り の 進 捗	・6月に市内在住の18歳以上の方を対象とした「上下水道施設見学会」(上青木浄水場・荒川町ポンプ場の見学、17名参加)、8月に市内在住の小学生と保護者を対象とした「水の学習会」(下久保ダム・荒川水循環センターの見学、76名参加)を開催し、上下水道の仕組みや大切さについて理解を深めました。 ・その他のイベントについては、10月以降に複数出展予定です。 ・8月に上下水道広報誌「みずぐるま」を発刊し、上下水道事業の経営状況に関する特集記事を掲載しました。
		Ⅳ-2-② 市民ニーズの把握	上下水道総務課	下水道(汚水)を使用できる市民が速やかに下水道(汚水)に接続していただけるよう、積極的な広報活動に努めます。また、下水道サービスの向上を図るため、さまざまなイベントなどを通じて、直接市民の声を聴くなど、市民ニーズの把握に努めます。	住民説明会や各種イベントへの出展・参加などを通じて、直接市民の声を聴くなど、市民ニーズの把握に努めます。	・イベントや上下水道局ホームページを活用し、アンケートを実施します。 ・アンケートの意見を各事業に反映できるよう、内容、集計方法を検討します。	①0 ②0	-	-	B 予定 ど お り の 進 捗	・ホームページアンケートを実施し、水道料金・下水道使用料についての理解度の把握や、お客様からのご意見・ご要望を収集しました。 ・より多くの意見を収集し、各事業へ反映できるようアンケートの周知方法や集計方法を検討しています。

令和7年度下水道事業評価(中間)一覧表

目 指 向 す べ き	基本政策	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
ⅣⅠ 下水道適 生活環境 の健全化	Ⅰ-1 生活環境の改善 や河川の水質保 全に努めます	Ⅰ-1-③ 下水道接続率の 向上	下水道維持課	・生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。 ・将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	下水道(汚水)は、市民に接続されてはじめてその効果(生活環境の改善や河川などの水質保全)を発揮します。さらに、下水道接続率を向上させることは、資産の有効活用や下水道使用料の収入確保にもつながることから、戸別訪問などによる接続促進活動を行います。また、下水道(汚水)に接続するための工事費用に対する支援の拡充について検討します。	・職員による戸別訪問を実施し、水洗化率(人口)の向上を図ります。 ・私道共同排水設備整備の補助などを実施し、水洗化率(人口)の向上を図ります。	①65,000 ②65,000	7,285	11%	B 予定ど おりの 進捗	・補助金の申請期間内にある世帯と既供用開始地区(鳩ヶ谷地区の一部)の水洗化促進活動を9月末までに実施するにあたって、その準備を進めています。 ・私道共同排水設備整備補助金は、現在8件について交付決定の処理が済んでいます。 ・水洗便所改造資金補助金は、現在114件について執行済となっています。
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-③ 下水道接続率の向上(再掲)	下水道維持課								
ⅣⅢ 下水道事 施設の適 切な管理 化	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-① 計画的な維持管理および改築の推進	下水道維持課	・流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。 ・将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	下水道施設の計画的な維持管理および改築を行うため、ストックマネジメント計画を策定し、膨大な下水道施設の状況を客観的に把握、評価することで、長期的な状態を予測しながら、計画的かつ効率的に下水道施設の管理を行い、建設投資にかかる経費の平準化を図ります。	・青木・横曽根・中央・南平地区において老朽管きよ2,200mの布設替え、管更生工事を実施します。 ・管きよの清掃を行うほか、青木、横曽根区域の管内調査を実施します。 ・汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模な補修工事を実施します。 ・下水道台帳交付等の窓口業務委託を実施します。	①1,062,107 ②1,459,600	266,656	18%	B 予定ど おりの 進捗	・布設替・更生実施設計及び布設替・更生工事についてはほぼ発注あるいは設計済です。 ・管渠の調査委託についてはほぼ発注済です。 ・小規模な補修工事については適時実施しています。 ・窓口業務委託については発注済みです。
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-④ 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	下水道維持課								
	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-③ 人材の確保と民間活用手法の研究	下水道維持課	・流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。 ・定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組みます。 ・将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	職員に対する研修の充実や資格取得を積極的に促進するとともに、必要に応じ、組織体制の見直しについて検討します。また、適切な維持管理を行う手法の一つとして、下水道施設の維持管理に関する民間活用についても研究します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	①2,002 ②2,002	1,007	50%	B 予定ど おりの 進捗	・管路施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行いました。 ・ポンプ場施設の維持管理における民間活用手法について情報を集め管理に活用中です。 ・職員に対して、研修の受講や資格取得を促しました。有料の研修について、延べ12人(9月末時点)が11講座に参加しました。 ・BPRを実践する職員を選出し、課題解決に向けて取り組んでいます。
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-③ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲)	ポンプ場管理センター								
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-⑤ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲)	上下水道総務課								
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-① 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	ポンプ場管理センター	・定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組みます。 ・将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	下水道施設の計画的な維持管理および改築を行うため、ストックマネジメント計画を策定し、膨大な下水道施設の状況を客観的に把握、評価することで、長期的な状態を予測しながら、計画的かつ効率的に下水道施設の管理を行い、建設投資にかかる経費の平準化を図ります。	・横曽根中継ポンプ場汚水ポンプ1・3号補修工事ほか2件の補修工事を実施します。 ・ストックマネジメント計画における更新工事(丁張橋中継ポンプ場機械設備更新工事ほか2件の更新工事)を実施します。 ・元郷排水ポンプ場流体継手シャフト他更新工事ほか6件の更新工事を実施します。	①982,402 ②1,102,302	918,126	83%	B 予定ど おりの 進捗	・年度内の更新工事の契約は済んでおり、機器等の製作を行っている状況です。補修工事においてもポンプのオーバーホールを行うため、製造メーカーにポンプを持ち込んでいます。 ・委託については、渇水期に行ったほうが良いなどのことから、土砂揚げ委託など契約が終えていないものもあります。 ・遅滞なく工事及び委託が進むよう請負業者と連絡を密にしていこうと努めます。
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-④ 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	ポンプ場管理センター								